

国内・海外

○印：国内関係 ☆印：海外関係

3日(月) ○ 景況2四半期連続改善(日銀短観)

日本銀行が発表した3月の大企業製造業の景況観を示す業況判断指数(DI)が、前回(昨年12月調査)から2ポイント上昇してプラス12となり2四半期連続で改善した。

14日(金) ○ 総人口16万2千人減

総務省が公表した2016年10月1日時点の人口推計で、外国人を含む総人口は1億2,693万3千人と前年から16万2千人減少した。マイナスは6年連続。

17日(月) ☆ 中国GDP、1~3月期6.9%成長

中国の国家統計局が発表した1~3月期の国内総生産(GDP)の実質成長率は、前年同期に比べて6.9%増え、中国政府の年間目標(6.5%前後)を大きく上回った。

20日(木) ○ 貿易黒字6年振り

財務省が発表した16年度の貿易統計(速報、通関ベース)によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は4兆69億円の黒字で、10年度以来6年振りの黒字に転じた。

28日(金) ○ 3月の有効求人倍率1.45倍

厚生労働省が発表した3月の有効求人倍率(季節調整値)は前月比0.02ポイント増の1.45倍で、バブル期の1990年11月以来、26年4カ月振りの高い水準になった。

県内・九州

★印：県内関係 ●印：九州関係

1日(土) ★ 国境離島新法施行、運賃引き下げ

国境に接する離島の人口維持や保全を目的とした国境離島新法が1日施行。島民を原則対象に航路運賃がJR並みに、空路運賃は新幹線並みに引き下げられ、各島で記念セレモニーがあった。

11日(火) ● 1月の九州訪日客、前年同月比33.3%増

九州運輸局が発表した17年1月の九州への外国人入国者数(クルーズ船含む)は、前年同月比33.3%増の37万8,832人となり、これまで単月で過去最高だった16年7月を上回った。

20日(木) ● 九州貿易収支、過去最大の黒字

門司税関が発表した16年度の九州経済圏の貿易統計(速報)によると、輸出額から輸入額を引いた貿易収支は2兆65億円の黒字で、統計開始以来過去最大となった。

24日(月) ★ 長崎帆船まつり閉幕、期間中来場21万人

長崎市は20日からの期間中、約21万2千人が来場したと発表した。昨年は熊本地震や悪天候の影響で約4万9千人まで落ち込んだが、今年は天候に恵まれ目標の20万人を上回った。

25日(火) ★ 長崎県立大学、日本貿易振興機構(JETRO)と連携協定

長崎県立大学とJETROは、包括的な連携推進に関する協定を結んだ。県立大学が受託研究等で掘り起こした県内企業の海外進出を、JETROが貿易実務などの情報を提供して支援する。